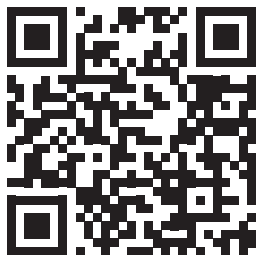


第85期 中間株主通信

2022年5月期 2021年6月1日から2021年11月30日まで

「ネットで株通」はこちらから



<https://k.srdb.jp/7921/>



中間株主通信と併せてお読みいただける
記事をご紹介します。

成長戦略を中心にご説明する
トップメッセージ（詳細版）

2021年8月から9月までに実施した
株主様アンケート結果のご報告

クローズアップ
東京証券取引所市場区分の見直し

最近のトピックス



中期経営計画の折り返しを迎え もう一段の成長に向けて 引き続き邁進します。

代表取締役社長 堆 誠一郎

当社グループを取り巻く環境変化が続くなか、顧客ニーズを着実に捉え対応した結果、各サービスは堅調に推移。売上高、利益ともに第2四半期で過去最高となりました。

新型コロナウイルス感染症による国内経済への影響は長期化しているものの、足元では企業活動に前向きな動きが多く見られるようになってまいりました。

「中期経営計画2023」の折り返し地点でもある当第2四半期連結業績は、次頁「連結業績ハイライト」に記載のとおり増収増益となり、過去最高の売上・利益を記録することができました。

ディスクロージャー関連事業では、株主総会の動画配信サービスの伸長や、今年4月に控えた東京証券取引所の市場再編を契機とした顧客企業の開示充実による統合報告書等のESG開示関連サービスや開示書類の翻訳売上が増加しました。

通訳・翻訳事業では引き続き大規模なカンファレンスや海外渡航を伴う会議は控えられているものの、interprefyに代表されるオンライン会議の実施が定着し、前年同期に比べて大幅に売上が回復しました。

「中期経営計画2023」は折り返し地点。顧客企業のディスクロージャー&IRの向上に引き続き貢献してまいります。

「中期経営計画2023」は折り返しを迎え、業績は順調に進捗しています。一方で当社グループを取り巻く環境変化は続いており、例えば、テレワーク下における開示決算作業の一層の効率化、東京証券取引所の市場再編（[当社ビジネスへの影響等の詳細は「ネットで株通」にて解説。](#)）、今年9月に控える招集通知の電子提供制度の施行等、制度変更への対応や技術革新による手段の変化が常に生じ、私たちにはそれらの変化に柔軟かつ即応できる体制が求められます。このような中で引き続き環境の変化に柔軟に対応し、顧客企業の要請に応えられるサービス提供を行ってまいります。

今期末に向けては、昨年5月にリリースいたしました開示書類作成支援ツールの「WizLabo」、このオプション機能として開発した予算管理システム「WizLabo Budget」や、IRサイト自動更新システム「XJ-Storage」を刷新した「WizLabo Library」等の拡販。サイマルをグループに迎え体制をさらに強化した通訳・翻訳事

連結業績ハイライト

	2022年5月期（第2四半期累計） （前年同期比）	2022年5月期（予想） （前期比）		2021年 5月期	2022年 5月期
売上高	13,184 百万円 (3.0%増)	26,000 百万円 (4.9%増)			
ディスクロージャー関連事業	10,093 百万円 (2.7%減)	— (—)	中間配当	27.0 円	29.0 円
通訳・翻訳事業	3,090 百万円 (27.3%増)	— (—)			
営業利益	2,247 百万円 (43.5%増)	2,800 百万円 (3.4%増)	期末配当	27.0 円	29.0 円 (予想)
セグメント利益又は損失(△)					
ディスクロージャー関連事業	1,945 百万円 (14.6%増)	— (—)			
通訳・翻訳事業	△17 百万円 (—)	— (—)	配当性向	41.5 %	44.7 % (予想)
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	1,381 百万円 (58.3%増)	1,700 百万円 (3.7%増)			

※1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年5月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

※2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と319百万円の調整を行っております。

配当

	2021年 5月期	2022年 5月期
中間配当	27.0 円	29.0 円
期末配当	27.0 円	29.0 円 (予想)
配当性向	41.5 %	44.7 % (予想)

※2022年5月期は、中間配当および期末配当に創業70周年記念配当2.0円(合計4.0円)が含まれます。

業では、コーポレート・ガバナンスにおいて重要性が高まる開示書類の翻訳。電子提供制度が間近に迫った招集通知関連では「ネットで招集」、動画配信等、様々なテーマに対して最適なソリューションが形になってきております。これらの動きを止めず着実に推進し、顧客企業の情報開示の充実に貢献してまいります。

「なくてはならない会社」としてあり続けるため、 着実に前進してまいります。

当社グループは、今年創業70周年を迎えました。これもひとえに株主様をはじめとしたステークホルダーの皆様のご支援の賜物と心より深く感謝申し上げます。

「専門知識を活かして皆様のお役に立ちたい」という創業者の想いから生まれた当社グループが目指していくポジションは、専門知識を活かして社会にとって「なくては

はならない会社」であることです。これからも社会の公器としてあり続けるため、着実に前進してまいります。

株主還元につきましては、引き続き基本方針である安定配当を前提として2022年5月期は創業70周年の記念配当4円を加えた中間配当29円、期末配当29円(予想)の年間58円を予定しています。

当社グループのさらなる成長にご期待いただき、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

2022年1月

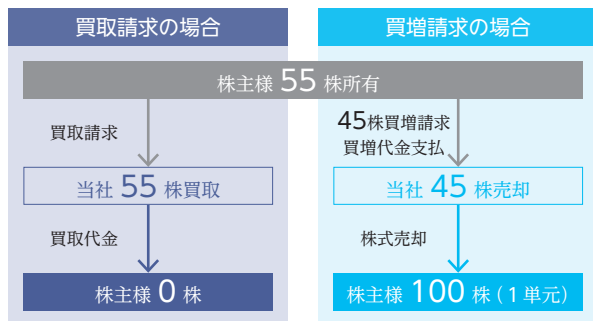
単元未満株式の買増および買取制度のご案内

当社の株式は単元株式数（売買単位）を100株としておりますので、100株に満たない株式（単元未満株式）は市場では売買することができません。

単元未満株式は当社に対して買増請求（買い増して1単元（100株）にする）および買取請求（売却する）することができます。

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

■ 55株をご所有の場合（イメージ）



株主優待制度

当社は「**選べるギフト**」を採用しています。

「選べるギフト」とは、当社の子会社である宝印刷(株)がお客様に提案しているデパート提携型の株主優待サービスです。

対象株主様

5月末の最終株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様

ご報告 社会貢献活動団体への寄付

株主優待で「社会貢献活動団体への寄付」を選択された株主様75名分の寄付金額と当社からの加算分と合わせ、今年度の寄付金総額は200,000円となり、社会福祉法人 日本点字図書館へ寄付しました。

日本点字図書館は、視覚障がいをもつ方の読書環境を支援する活動をしており、点字図書や録音図書の作成と貸出を行っています。寄付へのご協力ありがとうございました。

会社概要（2021年11月30日現在）

社名	株式会社TAKARA & COMPANY
設立	1960年4月15日（創業 1952年）
資本金	2,278百万円
本社所在地	東京都豊島区高田三丁目28番8号
従業員数	1,056名（連結）

株主メモ

事業年度	6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	8月
配当の基準日	期末配当 5月31日 中間配当 11月30日
公告方法	電子公告により当社ホームページ（ https://www.takara-company.co.jp/ ）に掲載いたします。ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

お問い合わせ先等は [こちら](#) をご覧ください。



STOCK VOICE 「資産形成フェスタ2021」 に出展しました



◀こちらから
直接ご覧いただけます。

TAKARA & COMPANY

<https://www.takara-company.co.jp/>